

第 11 回 YNUS 少年野球大会運営要綱

- (1) 本大会は、本要綱、公認野球規則、ならびに全日本野球連盟諸規定、全日本軟式野球連盟の競技者必携を準用して実施する。
- (2) 大会は 6 チームのトーナメントにて行う。準決勝勝利チームで決勝戦、敗退チームで三位決定戦を行う。
- (3) グラウンドルールは、大会当日本部役員より説明する。
- (4) 試合球は軟式公認 C 号ボールとする。ただし参加チームの要請により、当該チームと協議の上、その他のボールを使用することを認める。
- (5) 投手板と本塁間の距離、塁間の距離、本塁と二塁の距離は次の通りとする。
投手板と本塁 14 メートル、塁間 21 メートル、本塁と二塁の距離 29.7 メートルとする。
- (6) 攻守は試合開始 30 分前に主将によるジャンケンを行い、勝った方が選択できる。
- (7) 試合 15 分前までにメンバー表を 3 部提出する。
- (8) 投手の変化球は禁止する。スローボールは変化球とみなす。
- (10) 試合は、6 回戦とする。
- (11) ベンチに入れる人員に制限は設けない。ただし大会運営の妨げとならないよう配慮しなければならない。
- (12) ベンチは組合せ抽選時の若い番号を 1 塁側とする。
- (13) コーチアズボックスには、登録選手のみ入ることができ、監督・コーチ等指導者が入ることとはできない。
- (14) 得点差によるコールドゲームは、3 回以降 10 点、5 回で 7 点差とする。ただし、決勝戦、3 位決定戦は除く。
- (15) 試合時間は、1 時間 20 分とし、この時間を超えて新しいイニングに入らない。
ただし、決勝戦及び 3 位決定戦は 1 時間 30 分とする。
- (16) 前項で勝敗が決しない場合は、特別ルールにて勝敗を決する。無死満塁で前イニングの継続打者から攻撃を行う（走者は継続打者の前の打者を一塁、その前の打者を二塁、さらにその前の打者を三塁に置く）。特別ルールは 2 回までとし、決着がつかない場合は抽選とする。
- (17) 特別ルールについても、投手を含む守備側の交代、代打・代走など攻撃側の交代は通常のイニングと同様に行うことができる。
- (18) 日没、悪天候等により試合時間が残っているにも関わらず続行不可能な場合は、3 回以降の均等回をもって正式試合とする。
- (19) 日没・悪天候・ケガその他不測の事態が生じた場合の措置については、大会運営本部の決定に従うものとする。
- (20) 雨天の場合 当日 7:30 に大会運営本部より各チーム連絡責任者へ連絡する。 以上